



インターネットで傷つかない！傷つけない！ために

子ども達へのスマートフォンの急速な普及に伴い、グループトークでのいじめやSNSに投稿したふざけた写真が拡散し、取返しのつかない結果を招いたり、甘い言葉に騙されてSNSで知り合った人と実際に会いに行き、連れ去られ、性被害に遭ってしまったりと様々なトラブルや犯罪に巻き込まれるケースが後を絶ちません。

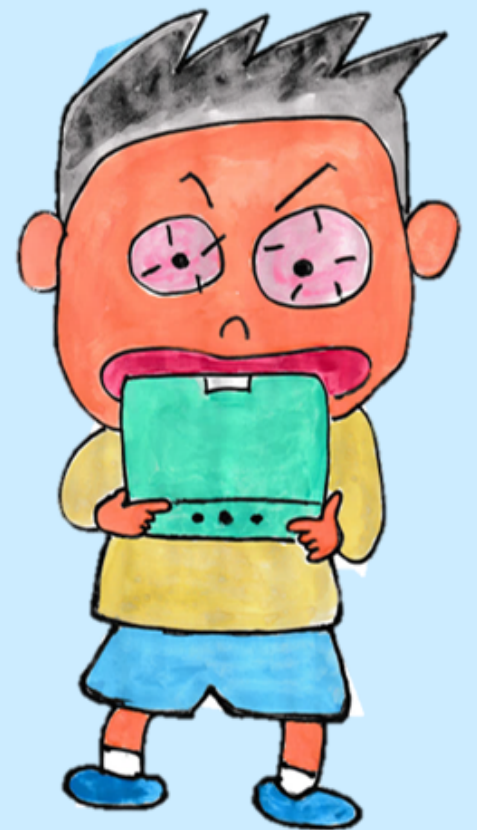
そこで、少年サポートセンターでは、ネットで傷つかない、傷つけないためにはどうすればいいのかを、子どもたち自身で考え、判断する力を身に付けてもらうために、『ネットはこわいな』(8つのやくそく)という標語を作り、それを基に、各小学校、中学校、高等学校等に対して情報モラル教室を開催し、ネットのトラブル防止や犯罪被害防止などの啓発活動を行っています。

インターネットの約束

ネットはこわいな

8つのやくそく

- ① **ネ**・・・ネットのルールを守ろう
- ② **ツ**・・・つながらないで知らない人と
- ③ **ト**・・・友だちを傷つけない
- ④ **は**・・・はだかの写真は写さない、送らない
- ⑤ **こ**・・・個人情報(こじんじょうほう)はのせない
- ⑥ **わ**・・・わるくち、うそ、いいかげんなことは書かない
- ⑦ **い**・・・行かない、会わない、ネットで知り合った人と
- ⑧ **な**・・・なりすまし、ながらスマホはしない



ペアレンタルコントロールで見守りを！

ペアレンタルコントロールとは？

保護者が子どもの環境やライフサイクルを見通して、発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理することをいいます。具体的には、

- ① 子どものインターネット利用状況の把握
- ② フィルタリングサービスの利用
- ③ 事業者が提供する機能の利用（ファミリーリンクやスクリーンタイムなど）
- ④ 話し合いによる家庭内のルールづくりと学齢や生活習慣に合わせたルールの見直しなどが挙げられます。

